プログラム

会場：本郷生涯学習センター にいたかホール

基調講演 【配信】

11月28日（土） 10：00～12：10

座長：助川 文子（県立広島大学）

感覚統合のエビデンスと日々の生活における実践

KL-1 強度行動障害のある人と感覚の問題
～生活介護事業所における現状と支援～

天本 瑞帆　社会福祉法人南高愛隣会 TERRACE からふる／
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 作業療法学講座

KL-2 読み書き障害の理論と実践を繋ぐ

高畑 脩平　藍野大学

KL-3 感覚統合療法の現在地
―自閉スペクトラム症児の感覚特性の異質性とエビデンスを臨床につなぐ

野田 遥　株式会社 LITALICO

教育講演Ⅰ 【配信】

11月28日（土） 14：50～16：20

司会：福島 由美（出雲市民リハビリテーション病院）

JPAN2/ADAPP の進捗状況

ELⅠ-1 JPAN2 感覚処理・行為機能検査の進捗状況

加藤 寿宏　関西医科大学大学院 生涯健康科学研究科 こどもとおとなの生活科学領域
こどものそだち科学分野

ELⅠ-2 ADAPP の標準化の進捗状況

岩永 竜一郎　長崎大学 生命医科学域 長崎大学子どもの心の医療・教育センター、
日本感覚統合学会検査開発委員会

教育講演Ⅱ 【配信】

11月29日（日） 13：10～14：40

座長：助川 文子（県立広島大学）

保育・教育における感覚統合

ELⅡ-1 大人も一緒に遊ぼう！
～乳幼児期の暮らしの中での感覚統合～

引野 里絵　りえチャイルドサポート

ELⅡ-2 「心のエネルギーが溜まる」通級指導教室をめざして

沖永 貞浩　　竹原市立竹原西小学校 通級指導教室担当

ELⅡ-3 保育・学校環境における感覚統合
―子どもの参加を支える理論と実践―

伊藤 祐子　　東京都立大学 健康福祉学部 作業療法学科

大症例検討会 【配信】

11月29日（日） 9：40～11：10

座長：福島 由美（出雲市民リハビリテーション病院）

行動の背景を探る
～僕にとっての最善策！（仰向けでお茶を汲む）～

報告者：土江 裕子　　出雲市民リハビリテーション病院
宍戸 由梨香　　出雲市民リハビリテーション病院

口述発表　プログラム

口述発表Ⅰ・Ⅱ

11月28日（土） 13：50～14：40

座長：森川 芳彦（専門学校 川崎リハビリテーション学院）

［ 研究：研究発表 ］

Ⅰ-1　知的能力障碍を伴う自閉スペクトラム症幼児に対する実臨床環境下の感覚統合療法
―非ランダム化比較試験―

中村 浩紹　大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科 博士後期課程

Ⅰ-2　観念化に関する評価指標の開発にむけた調査研究

松島 佳苗　関西医科大学大学院 生涯健康科学研究科

［ 実践：感覚統合療法による実践報告 ］

Ⅱ-1　中学校の別室登校生徒に対する感覚統合理論の視点を取り入れた環境調整の実践

鱒渕 ゆら　荒川区立中学校 特別支援教育補助員（作業療法士）

Ⅱ-2　バラバラ漢字パズルを用いた漢字学習の実践報告
―触覚・固有感覚入力に着目した書字学習支援―

福永 寿紀　大和大学白鳳短期大学部

Ⅱ-3　感覚統合理論を活用した教員支援の実践
―モルディブにおける DoIE との協働―

青木 美紀　モルディブ教育省 インクルーシブ局 Department of Inclusive Education（DoIE）, Ministry of Education, Maldives

口述発表Ⅲ

11月29日（日） 11：20～12：10

座長：浅野 由希（観音寺ふたば保育園）

［ 事例：感覚統合療法による事例報告 ］

Ⅲ-1　紙パンツでの排尿にこだわっていた ASD 児が便器への排尿に成功した１症例

末澤 拓弥　丸亀子どものお城・リハビリクリニック

Ⅲ-2　ASD 児に対する感覚統合の視点を用いた介入の効果
～運動や不器用さ、こだわり等に改善がみられた事例～

新 春菜　NPO 法人なごみの杜

Ⅲ-3　感覚調整に難しさがある児に対する感覚統合的アプローチ
～アートの重要性が示唆された一例～

中川 真奈美　ミライこどもケア発達支援教室

Ⅲ-4　感覚統合理論の視点を活用した遊びの広がりへの支援
―未就学女児への作業療法の一事例―

増田 久美子　県立広島大学 保健福祉学部 保健福祉学科 作業療法学コース

Ⅲ-5　感覚運動遊びと小集団 JASPER の並行実施で遊びの主体性とアイディエーションが向上した4歳男児の一例

齋藤 知美　一般社団法人ころん